# EPA候補者受入れ説明会

**2020年3月26日（木）**
**医療法人社団　いちえ会**
**洲本伊月病院　　藪田さとみ**

# 本日の内容

1. EPA候補者の受入れ理由
2. 受入れまでの準備
3. EPA候補者の受入れ状況
4. EPA候補者の指導体制
   1）学習面での指導計画・方法
   2）日本での生活面、職場環境面での支援
   3）仕事面での指導計画
5. 受入れてからの患者・家族の反応
6. 受入れ後の職員の反応
7. 受入れて良かった点・苦労した点
8. 受入れ後、支援したこと
9. 受入れ後の課題
10. 合格者の院内教育・職場定着について
11. 受入れ準備に関するアドバイス
12. 資格取得後、看護師としての勤務状況

# 1.受入れ動機・理由

- 医療保険改定により看護師の転籍等により看護師不足となる
- ２００８年洲本医師会准看学校の廃校により、卒業生の入職がなくなり職員確保が難しくなる

↓

- 2010年11月、フィリピンの候補者、2名を初めて受入れる

# 2.受入れ準備　【生活環境】

## 1）住居環境

- 2DKの借上げマンションを準備　　一人：1室
- 周辺の地図、災害時の対応と連絡方法
- インターネット、携帯電話、水道・電気・ガスの準備
- 部屋に準備する物は職員に声をかけて寄付を募る
- 購入品は、ベッド・布団・洗濯機・冷蔵庫・炊飯器・ 照明器具など
- 帰国する人から受け継ぐことも多い

## 2）生活支援

- 初回は日常生活の援助者を決めて支援体制を整える
- EPA候補者の先輩が後輩を支援する体制する
- 医療ビザで働く看護師、家族を呼び寄せて生活するなど、先輩が後輩の面倒を見る体制で支援する

# 2.受入れ準備

## 3）費用

- 兵庫県の外国人看護師候補就労研修支援事業補助金の交付を受ける

【施設負担】

- 専従教員の配置
- 国際厚生事業団手数料、研修・生活費、日本語学校、スカイプを使用した日本語授業、日本語の通信教育等

# 2. 受入れ準備

【配属時期】

看護部長 ⇒ 所属部署の決定

- フィリピンからの候補者　研修終了後、12月着任

- ベトナムからの候補者　研修終了後、8月着任

# 3. 候補者の受入れ状況

| 受け入れ状況 | 人数<br>（　）ベトナム人 | 国家試験<br>合格者 | 帰国者 | その他 |
|---|---|---|---|---|
| 2010年（平成22年度） | 2 | 0 | 2 | 勤務後帰国 |
| 2011年（平成23年度） | 2 | 0 | 2 | 勤務後帰国 |
| 2012年（平成24年度） | 2 | 0 | 2 | 勤務後帰国 |
| 2013年（平成25年度） | 4 | 0 | 4 | 勤務後帰国、<br>不合格帰国 |
| 2014年（平成26年度） | ２（2） | 1 | 2 | 勤務後帰国 |
| 2015年（平成27年度） | 1 | 3 | 1 | EPA延長<br>不合格帰国 |
| 2016年（平成28年度） | 0 | ２（2） | 0 | |
| 2017年（平成29年度） | （1） | 0 | 0 | |
| 2018年（平成30年度） | 1 | 0 | 0 | EPA 候補者<br>不合格帰国 |
| 2019年（令和1年） | 0 | 1 | 0 | |
| 合計 | 17 | 9 | 13 | 現在の勤務者3名<br>EPA候補者1名 |

# ３．候補者の受入れ状況

- 候補者2名からスタートしたが、2014年には12名の候補者が在籍しており、専従教員1名で相互に切磋琢磨してもらいながら支援する

- 現在は、2018年の候補者1名と専従教員の1対1の個別支援となり個人の特性を踏まえた指導となる

# 4. 候補者の指導体制

【指導体制の経緯】

1）2010年～看護部長が担当
　　日本語習得と生活習慣確立に奮闘

2）2011年～専従教員の配置

3）2012年～午前勉強、午後仕事として学習支援

4）2013年～週2日終日学習時間
　　土曜日は午前勤務、午後日本語学校（1時間程度）

5）2015年～現在の体制

＊ 4月～9月　週2日：(16時間）
　　専従教員在中（2日間）　＊土曜日（午後）日本語学校

＊10月～2月　週5日：(40時間）
　　専従教員在中（3日間）
　　2日：自己学習
　　＊土曜日・日曜日・祝日　自己学習

EPA候補者
「もっと学習時間がほしい」
要望から現在の体制が確立

# 4. 候補者の指導体制（学習面）

- 1週間のスケジュール　研修指導体制は（別紙参照）

- 専従教員が在中している日は、個別面接し、学習進捗状況の確認と学習計画の見直し、個人学習を進める
  小テスト　→　採点　→　振り返り知識の定着に努める

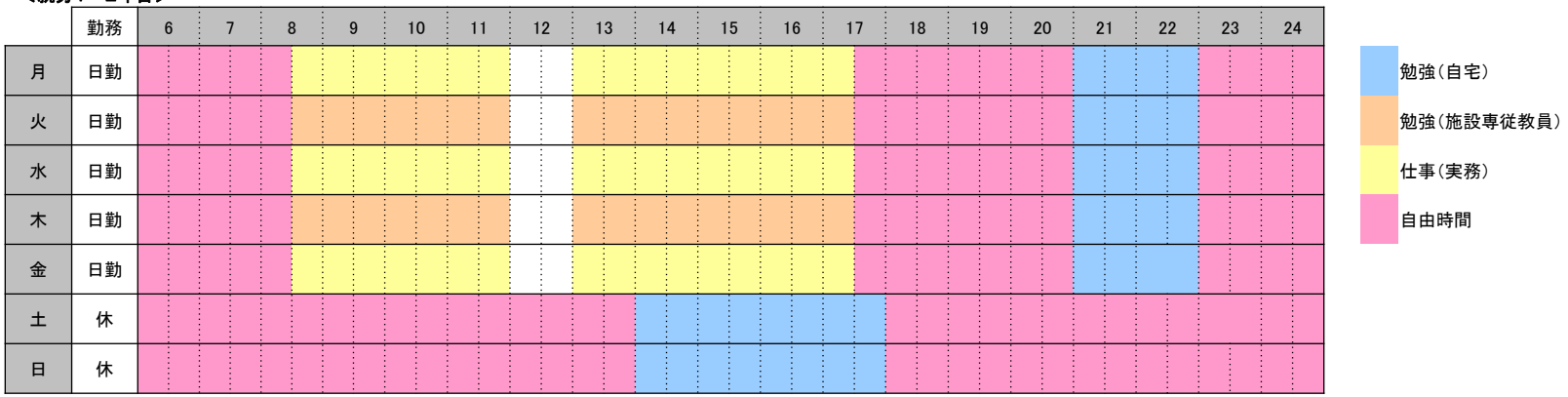
- 個別に質問を受けて、分からない領域テーマは、個別指導を行う（看護における倫理、看護の機能と役割、看護マネジメント、地域連携、法や施策、統計等）

- 毎週土曜日約1時間、日本語教室に参加する
  個人のレベルに合わせた参考書を使用し1対1の体制にて学ぶ
  教員から聞く・話す・読む・書く繰り返し、日本語能力を高める

# 4. 候補者の指導体制（1週間のスケジュール）

**1週間のスケジュール**

**＜就労1～2年目＞**




**○1週間の平均学習時間 ＝ 施設（ 16 ）時間・自宅（ 18 ）時間**

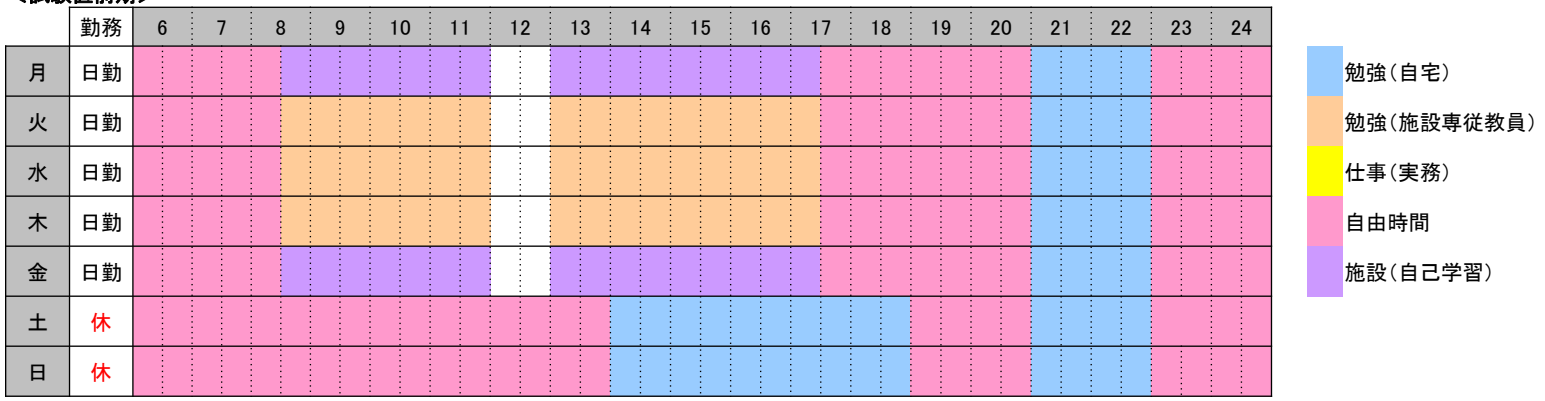
**○具体的な学習内容**

| | |
|---|---|
| 日本語 | ・日本語教育ボランティア教室に参加する（1時間／毎週土曜日）<br>・個人に合わせた参考書を使用し、マンツーマン体制にて学ぶ。<br>・元小学校教員から聞く・話す・読む・書くを繰り返し、日本語能力を高める。<br>・院内行事の花見会、バーベキュー大会、夏祭り、院内旅行、忘年会などの行事に参加し、日本人との親睦を図る |
| 看護・介護の専門知識・技術 | ・新入職員研修　・日本人看護補助者がプリセプターとして介護の知識・技術の業務の指導<br>・看護補助者として勤務する。<br>・患者の日常生活の援助を通して、原理原則を学ぶ。学習時間にフィードバックして正しい知識を身につける　・患者、家族、スタッフとの日本語でのコミュニケーションをとり日本語に慣れる |
| 受験対策 | ・頻出テーマに沿った学習（範囲を限定して学ぶ）<br>・日本語・看護用語に慣れ覚える学習<br>・模擬試験で学力を見極めながら、得意領域を強化する<br>・学んでいない領域や不得意の領域は、問題を解きながら指導する<br>・模擬試験の分析を行う（誤解答は、知識不足、日本語の理解不足、　ニアミスか個人の傾向を知る） |

# 4. 候補者の指導体制（1週間のスケジュール）

1週間のスケジュール

＜試験直前期＞




○1週間の平均学習時間 ＝ 施設（ 40 ）時間・自宅（ 24 ）時間

○具体的な学習内容

| | |
|---|---|
| 日本語 | ・日本語教育ボランティア教室に参加する（1時間／毎週土曜日）<br>・個人に合わせた参考書を使用し、マンツーマン体制にて学ぶ。<br>・元小学校教員から聞く・話す・読む・書くを繰り返し、日本語能力を高める。<br>・院内行事の花見会、バーベキュー大会、夏祭り、院内旅行、忘年会などの行事に参加し、日本人との親睦を図る |
| 看護・介護の専門知識・技術 | ・日本人看護補助者がプリセプターとして介護の知識・技術の業務の指導<br>・看護補助者として勤務する。<br>・患者の日常生活の援助を通して、原理原則を学ぶ。学習時間にフィードバックして正しい知識を身につける ・患者、家族、スタッフとの日本語でのコミュニケーションを積極的に行う |
| 受験対策 | ・要点学習にて、理解しながら覚える学習<br>・成分リスト、自己学習ノートの活用<br>・得意領域も強化しつつ、不得意な領域も学び続ける。模擬試験得点50%を目標にする<br>・模擬試験結果の分析を行う(誤解答は、知識不足、日本語の理解不足、 ニアミスか個人の傾向を知る) |

# 4. 候補者の指導体制（研修指導体制）

| | 日本語 | 受験対策 | 業務 |
|---|---|---|---|
| 指導担当 | EPA専従教員<br>師長・スタッフ<br>社会福祉協議会：日本語講師 | EPA専従教員 | 看護師長補佐・日々のリーダースタッフ<br>看護補助者チーフ、スタッフ |
| 就労　1年目 | ・週1回（1時間）<br>日本語講師<br>・職員との日常会話<br>（話す・聞く、伝える）<br>・日記 | ・個人の計画の基に学習<br>・4月～9月　週2回、（1日8時　間）専任教員と学習<br>・頻出テーマに沿った学習<br>・日本語・看護用語に慣れ、覚える学習<br>・10月～2月<br>・週3回と専従教員と学習<br>・週2回、自己学習<br>・模擬試験で学力を見極めな　がら、得意領域を強化する学習<br>・学んでいない領域や不得意　の領域は問題を解きなが　ら指導する<br>・模擬試験の分析を行う | ・最初の1ヶ月間は、指導者とともに業務する<br>・一人立ちできるまでは指導者が支援しながら患者の日常生活支援を行う<br><br>・6～8ケ月以降は看護補助者業務を自立できる |
| 就労　2年目 | ・週1回（1時間）<br>日本語講師<br>・職員との日常会話<br>（話す・聞く、伝える）<br>・日記 | 4月～9月<br>週2回、（1日8時間）専従教員と学習<br>10月～2月<br>週3回、週2回、自己学習<br>・要点学習にて、理解しながら覚える学習<br>・成分リスト、自己学習ノートの活用<br>・得意領域も強化しつつ、不得意な領域も学び続ける。模擬試験得点50%を目指し指導する | 看護補助者業務については、自立できる |
| 就労 3年目 | 同上 | 2年目と同様 | 看護補助者業務については、自立できる |

# 4. 候補者の指導体制（研修指導体制）

就労1年目

- 頻出テーマに沿った学習（範囲を限定して学ぶ）
- 日本語・看護用語に慣れ覚える学習
- 模擬試験で学力を見極めながら、得意領域を強化する
- 学んでいない領域や不得意の領域は、問題を解きながら指導する
- 模擬試験の分析を行う

就労2年目

- 要点学習にて、理解しながら覚える学習
- 成分リスト、自己学習ノートの活用
- 得意領域も強化しつつ、不得意な領域も学び続ける。模擬試験得点50%を目指す
- 模擬試験結果の分析を行う
  （誤解答は、知識不足、日本語の理解不足、 ニアミスか個人の傾向を知る）

# 4. 候補者の指導体制（学習面）

## 【候補者の指導計画】

＊ 仕事と学習の割合をどう計画するのかが鍵

＊ 仕事で実践したことを学びで抽象化する

＊ 国家試験学習だけでは、合格したあとの看護実践ができない

＊ EPA候補者の意見も聞きながら計画する

＊ JICWELSの集合研修に合わせて、学習計画を立案する
（予習・研修・復習にて知識を定着）

＊ 模擬試験（1回/月）を受けて、学習の成果を把握し可視化する

＊ 必修、一般・状況問題の得点レベル別の目標値を決める

＊ 学習の継続・・・

**院内学習室での学習風景**
**＊専従教員は元看護専門学校の教員**

# 4. 候補者の指導体制（学習面）

## 【専従教員の指導教材】

**国際厚生事業団の外国人看護師候補者学習支援事業を有効に活用**

- 学習ガイドの活用
- JICWELS主催の集合研修
  参加している。候補者達の再会の場であり、交流できる
  集合研修と復習テストにて知識を定着させる
- JICWELS主催の模擬試験
- 巡回訪問・スカイプによる学習相談（学習診断・個別学習指導）

**指導計画（学習計画を立てる）**

- １年間の受験対策スケジュールを立てる（研修会・模擬試験・行事等）
- 毎月、毎週、毎日の目標を立てる
- 学習の進度に合わせて、評価・修正する
  （教員在中時に行うようにする）

# 4. 候補者の指導体制（学習面）

## 専従教員としての受験対策

- 出題基準を確認する
- 頻出テーマ、項目を確認する
- 要点学習の方法を理解する
- 過去問題学習の方法を理解し計画を立てる
- 科目、テーマ別の学習内容を決定し到達目標を立てる
- 受験日までの学習計画をたてる
- 1週間の学習予定を決定する ⇨ 計画・実践
- 実践した学習内容を確認する ⇨ 振り返り
- できたことを確認する
- できなかったことを確認する
- 計画に修正が必要なときは変更・修正する

# 4. 候補者の指導体制（学習面）

## 専従教員としての候補者の理解

- 相手を知る　　・ 自分を知る
- 得意な領域・項目を把握する
- 不得意な領域・項目を把握する
- 学習方法 を知る

【日本語の壁】

・否定か肯定かわからず、曖昧な表現が苦手

・ベトナム人は、英語やカタカナわからない

【看護学の既習の違い】

・老年看護学は学んでいない

・入院すれば、日常生活の援助は家族が行う

・看護師は、主に診察の介助が業務と認識

・日本独自の看護は、学んでいないので特に難しい

「老年看護学」「在宅看護論」「健康支援と社会保障」

「看護の統合と実践」

# 4. 候補者の指導体制（仕事面）

- 国家試験合格までは、看護補助者として所属部署で勤務
- 看護補助者が自立できるまで個々に合わせて入院患者の日常生活援助を支援する

- 国家試験合格後は、看護師として勤務

  新採用看護師として院内の教育スケジュールに基づきプリセプター、師長補佐と共に各部署で知識・技術・日本語の専門用語等自立できるまで支援する

# 4. 候補者の指導体制（生活面・職場環境）

- 院内行事の花見会、バーベキュー大会、夏祭り、院内旅行、忘年会などの行事に参加し、日本人スタッフとの親睦を図る
- 候補者と外国人看護師に呼びかけ、食事会での交流を図る
- 所属部署では、師長を中心にスタッフが職場で慣れるように声をかけ応援する
- 看護師国家試験に合格した同郷看護師と休憩時間を利用し、学習室で交流できるようにする
- 候補者や研修担当者の思いや悩みについて、相談できる体制を整え、教育次長や師長の協力を得る

# 5. 受入れてからの患者・家族の反応

患者
家族

外国の看護師はどの方もやさしい、親切、丁寧といった感想を頂いた

やさしく、いつもニコニコしており、感じが良い
やさしく接している、すごく頑張っている

患者・家族からの「外国人看護師がとても熱心に仕事されていたのが印象的でした」と個人名を記載した意見を頂いた

一生懸命で頑張っている姿を見ると励まされる

他の国の看護師をしていること、大変やろうけど頑張っているのね、と話される

日本語も上手

一生懸命働いている姿を見て、「遠い所から来て頑張っているのね」

# 6. 受入れ後の職員の反応

- ニコニコと笑顔で誰にでも丁寧に接してくれる
- 一生懸命で頑張っている姿を見ると励まされる
- やさしく接している　すごく頑張っている
- 日本語の理解力が国家試験、日常生活においても一番重要だと思う
- 一生懸命に接しているイメージ強かった
- 病院で準備する生活用品や物品を提供した
- 生活支援として野菜等を提供した
- 日本語に対してもあまり苦情を聞くことはなかった
- 同じように感じて努力した人は、成長が早かったように感じている
- 日本の環境に馴染むのに時間を要した人は長続きしなかった
- 本人が希望する研修会に参加でき、研修後の報告会や看護実践報告の発表もしていたので日本語能力も高まった
- 患者側の受入れが難しい場面もあった

# 7.受入れて良かったこと・苦労したこと

【良かったこと】

- 周りの職員たちもコミュニケーション・指導を図ろうと努力してくれた
  院内英会話交流を行う等、交流の場を設けられた
- 丁寧・熱心さ、誠実に患者対応をしているので、相手を思いやる気持ちが広がった
- 病院全体で候補者の支援をする意識が高まった
- 看護師の免許取得するまで看護補助者として勤務できたので看護補助者の人員が確保できた
- 外国人患者が受診した際に英語で通訳してくれたので診療や事業所の職員の対応がスムーズに行えた

【苦労したこと】

- 相互に国民性の違いを受入れるのに困難な面もあった
  （個人の性格の違いのためか）
- 日本語の解釈や理解のために何度もわかるように説明

# 8.受入れ後、支援したこと（所属部署）

- 仕事と勉強のバランスが取れるように勤務を工夫した
- 帰省時の長期休暇の勤務調整を工夫した
- 疾患・経過がわかり易い患者を受け持ち、日本の看護師がプリセプターとしてかかわる
- できるだけわかり易い言葉で説明し、話しやすい雰囲気づくりをした
- 個々に合わせた業務に変更し働きやすくその都度検討した
- 電子カルテ操作全般、繰り返し説明
- 何度も繰り返し説明し理解できているか、確認をする
- わからない言葉があれば携帯や電子辞書を使用して一緒に調べた
- 交換日記　一言一言、何でも日本語で書く　電子辞書での対応
- 院内の行事に参加を進める（バーベキュー、忘年会、お花見会・・）
- 自分たちが大切にしていること（宗教や母国のもの・・家族）は守れるよう支援した
- 日本語学校に通学できるよう配慮した
- 家族へのサポート
- 色々な手続きの仕方の説明、付き添い
- 生活面での支援

# 9. 受入れ後の課題

資格取得後も日本語学校に継続して通えるような支援が必要

心配事、不安なことがないよう伝えやすい環境づくり

定期的な面談を密にする
定期的なメンタルケアが必要

地方の方言の話し方は聞き取りが難しい、指導側は標準語で話す努力が必要

課　題

日本と母国の医療・看護の違いを知る

難しい漢字や日本語はもう少しわかり易い言葉で伝え、慣れるまでは日本語も不慣れなので安心感を与えた関わりが必要

他施設のEPA看護師候補者同士の交流会

# 10. 合格者の職場定着に向けて

今後どのようにしたいと考えているか、本人の思いを知る

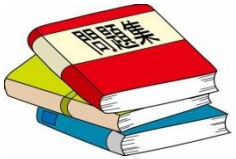
継続教育プログラム
新人看護師として日本人看護師と同様にプリセプターシップを導入、部署毎にチームで支援

病院の福利厚生の活用

日本語教室への参加

家族と共に生活できる住居環境の整備

# 11. 受入れ施設へのメッセージ




教材の準備

いつでも学習できる
環境を整える

日本語能力の向上
聞く・話す・読む・書く
報告・連絡・相談
共に学ぶ

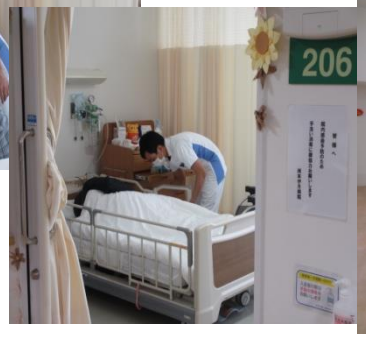
国際厚生事業団の
外国人看護師候補者
学習支援事業を
有効に活用

日本語に慣れるには、
日常会話が大切!
日本語学校が
あれば参加

国家試験の学習以外にも
看護実践につながる学習
計画も立案する

# 12.勤務状況（看護師）

ベッドへの移動
見守り・環境整備



患者さんと集団で音楽に
合わせ伊月体操を行っている

患者さんを
サポートをしながら
体操中

何時も笑顔で優しく対応
（1年目の看護師）

# 12.勤務状況（看護師）

看護師との
申し送り

患者さんの処置・
ケア中

努力家、一生懸命頑張
っているママさんです
日本語も上手です
（4年目の看護師）

# 12. 勤務状況（夜勤）

勤務前に電子カルテから患者情報収集

信頼されています

患者の処置ケア・記録中

日勤から夜勤者への申し送り場面

学習室で勉強中のご主人との場面（5年目看護師）

# ご清聴ありがとうございました

一期一会

“once-in-a-lifetime chance; special occasion”